

第2回 宮城民医連 医療・介護SDH活動交流集会

日時▶3月14日(土)
13:50~17:00(受付時間13:20)
場所▶TKPガーデンシティ仙台
[21階]ホール21(C+D)(アエル21階)
問い合わせ/県連事務局 Tel:022-265-2601

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部50円

路上生活者等検診・食事会

検診参加者15人のうち 4人が要受診者



検診風景

1月4日(土)、路上生活者等の健康を守るため、仙台市福祉プラザで開催されました。ボランティアとして、医師4人を含む職員33人が参加しました。

検診は15人の方が受けられました。事前に検診希望のあった方々には健康相談記入用紙がわたっていました。受付もスムーズでした。検診者は受付のあと、問診、血圧測定、尿検査、歯科の相談の後、最後に診察を受けました。

検診を受けた15人中10人が屋外で生活されているとの報告を聞き、1月の寒さのなか、どんなに

1月4日(土)、路上生活者等の健康を守るため、仙台市福祉プラザで開催されました。ボランティアとして、医師4人を含む職員33人が参加しました。

4人の方が受診が必要との診断となりました。健康相談記入用紙には健康状態についての心配事を記入する欄の他に、現在の住まいや、いままでの仕事、収入について聞くところもあり、SWの方たちが丁寧に伺っていました。時間をかけてじっくり話される方もみられました。

かきびしい生活を送っているのではないかと思います。

2019年の厚生労働省の調査で仙台市内の路上生活者は85人いるという新聞記事を目にしました。憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」は、どこに



矢崎ともこ医師



宮沼弘明医師



千葉茂樹医師



藤野英俊医師



おかわりどうぞ

あるのでしょうか。

宮城民医連事務局にも住所不定や健康保険未加入の方から医療機関を受診したいとの問い合わせの電話がはいることがあります。無料低額診療についても聞かれる方もいます。その方達へは現在居る場所の近い民医連の

医療機関を案内しています。

今回、ボランティアで参加しましたが、実態をまだまだ知らないより多くの職員にも参加して体験していただきたいと思いました。

(県連事務局 伊藤節子)

友人に勧められて、少し前に話題になった「不死身の特攻兵」を読んだ。9度も出撃したにも関わらず生きて帰ってきた青年の実話からのノンフィクションだ。▼特攻に関する書籍では「神風特別攻撃隊」のように命令した側の物語に終始するものもあるが、本書は隊員の内面にまできちんと踏み込んだ描写がされている。「命令した側」と「命令を受けた側」をこちゃ混ぜにせず「命令した側」の問題点を追及している点が秀逸であった。▼本文から引く「特攻隊員を「英霊」「軍神」と無条件で讃える言い方も、僕は気をつけたいというふうに思っています。そういう言い方によって「命令した側」の存在が曖昧になってしまっているからです。(略)そんな特攻隊員を生んだ「命令した側」も評価されるイメージが生まれるのです。▼特攻作戦を続けたのは、米軍に対して有効でなくとも、「国民」と「軍人」に対して有効であったからだという著者の考えは頷けるもので、これこそ戦争の狂気を表していると感じる。▼結びの「リーダーが語るべきは「精神」ではなくリアリズムだ」との主張にも賛同した。反戦の書としてだけでなく職責者の参考にもなる一冊だと感じた。



各分野の後継者養成について意見交換

宮沼弘明医師部長からあいさつの後、ベテラン医師に向けて行った幹部医師養成に関するアンケート結果の報告と問題提起が行われました。

アンケート結果では、①院長・副院長を担うことに関しては63%が「是非担いたい」、②診療所所長を担うことに関して



グループワークでの意見を発表

医師人事に関しては、「育成面接、評価制度について医師でも開始してほしい」「診療所は中堅から若手複数医師が担当して良いと思う」「今、自己実現だけを考える若い医師が増えている。理



ワールドカフェで自由にメモを模造紙に

グループワークでは「各人、各分野の後継者養成に関して」、後半は「幹部医師養成について」をワールドカフェ形式で話し合いました。

参加者からは、「様々な立場、幅広い年代の先生方の話が聞けて良かった」「重いテーマでしたが皆さんの色々な思いを持っていることが分かった」「普段聞けない話が聞けたので大変有意義だった」「同世代の人たちと率直な話ができて、そのこと自体が良かった」「来る前は少し憂鬱だったが楽しく有意義だった」「幹部養成について言葉にしにくい率直な思いも含めて話せた。おおむね皆同じで共感できる話を聞けてよかった」「定期的にこのような層別の集まりは必要」など積極的な感想が寄せられました。

今回は対象をベテラン・シニア世代(25年以上)とベテラン・ジュニア世代(15年~24年)の合同とした訳ですが、この点でも評価されました。同時にこの「層別世代」の組み分けについては、今後の医師部の課題にすることで共有しました。

来る4月4日(土)は、県連医師総会が予定されています。そこでは、ポスターセッション「医師の学術・教育的活動の交流企画」と、「SDHに関する講演と症例検討会」学術的には医師はどのように取り組むか」を行う予定です。現在、医師部会として、成功のためのプロジェクトチームを稼働させながら準備を開始しています。

こちらも、是非、期待していただきたいと思っています。

医師の幹部養成の課題について

率直に思いを出しあった

県連医師部事務局長 佐藤孝一

ベテラン医師の会

県連医師部は、ベテラン医師の会を1月11日(土)の午後から松島の新富亭で開催しました。参加医師数は14名で事務合わせて総勢19名の参加でした。

テーマは「後継者養成と幹部医師作り」であったの後継者養成は進んでいますか」とでした。

は35%が「要請されれば担う」、③県連の役職を担うことに関しては28%が「要請されれば担う」、④全日本の役職を担うことに関しては13%が「要請されれば担う」の結果でした。なお「要請されれば担う」の中には「既に担っている」を含めています。

念に共感して自分の役割を考える医師をどう育てるかが鍵」「医師の成長・能力について、医師の自発性に任せすぎ。病院の管理運営は年が上がるだけでできるようなものではない」「県連の課題を共有するためにも人事交流の活性化が必要」などたくさん意見が寄せられました。医師部として、これらの意見を整理して今後、医師の幹部養成の課題に着手していきたいと考えています。

グループワークでは「各人、各分野の後継者養成に関して」、後半は「幹部医師養成について」をワールドカフェ形式で話し合いました。

今回は対象をベテラン・シニア世代(25年以上)とベテラン・ジュニア世代(15年~24年)の合同とした訳ですが、この点でも評価されました。同時にこの「層別世代」の組み分けについては、今後の医師部の課題にすることで共有しました。

健康手帳

友人に勧められて、少し前に話題になった「不死身の特攻兵」を読んだ。9度も出撃したにも関わらず生きて帰ってきた青年の実話からのノンフィクションだ。▼特攻に関する書籍では「神風特別攻撃隊」のように命令した側の物語に終始するものもあるが、本書は隊員の内面にまできちんと踏み込んだ描写がされている。「命令した側」と「命令を受けた側」をこちゃ混ぜにせず「命令した側」の問題点を追及している点が秀逸であった。▼本文から引く「特攻隊員を「英霊」「軍神」と無条件で讃える言い方も、僕は気をつけたいというふうに思っています。そういう言い方によって「命令した側」の存在が曖昧になってしまっているからです。(略)そんな特攻隊員を生んだ「命令した側」も評価されるイメージが生まれるのです。▼特攻作戦を続けたのは、米軍に対して有効でなくとも、「国民」と「軍人」に対して有効であったからだという著者の考えは頷けるもので、これこそ戦争の狂気を表していると感じる。▼結びの「リーダーが語るべきは「精神」ではなくリアリズムだ」との主張にも賛同した。反戦の書としてだけでなく職責者の参考にもなる一冊だと感じた。

チーム
ステップス

自分の思ったことを伝えられる

「心理的安全性」が大切

長町病院作業療法士 長嶋卓矢

1月18日坂総合病院2階セミナールームにて、第2回目のチームステップスの研修会が行われました。講師は、第1回に引き続き、岡山民医連の佐藤恭江氏をお招きしました。



チームステップスは、エビデンスに基づいたトレーニングであり結果が出てくるものであるという点と、現在の医療安全の考え方として、チームの中で自分の思ったことを自由に発言しても不利益を被らないと感じられる

「心理的安全性」が大事と話されました。この心理的安全性に関しては、職場に担保されていないところが多いのではないかと話され、チームのパフォーマンスを高めるためには必要な考え方だと説明がされました。

前回の研修から



グループワーク「Web of life」



「ありがとう」と伝えて渡すと

2か月が経過しており、研修後の振り返りを行いました。受講者からは積極的に様々なツールを使っていたとの報告が上がっていました。チームステップスの考え方を知らない場合は難しく、各事業所の管理者等が研修に参加してより多くの職種のスタッフがメンタルモデルの共有(それぞれ

とが大切ではないかというまとめとなりました。その後の「Web of life(人生の綱)」というグループワークでは、自分の職種ではない医療機関で働く職種のカードを選び、輪になって相手に安全を担保するためにしてほしいこと、してもらっていることを伝えながら紐を渡していく、紐を受け取ったら必ず「ありがとう」を伝えて、様々な職種へつないでいくワークを行いました。初めは点と点だったが、線になり、徐々に面になっていくことで多職種を「知る」こと、

相手に「伝える」ことの重要性や、チームアプローチや連携について考えられた内容でした。研修会を通して、安全とは何か、多職種に関して知る、

「介護保険制度20年と
私たちのあゆみ」④

厚生福祉部 事務局 大内 誠

これから介護保険はどうなっていくのか介護保険制度は5年に1回の

伝えることの大事さを考えるきっかけとなりました。より多くの職員がチームステップスの考え方に触れる機会があればいいと感じました。

制度改正があると前述しましたが、2020年がその5年目にあたります。この介護保険制度改定で何を狙っているのでしょうか。

財務省主導で介護保険制度の改悪の議論が進められています。国民的議論をせずに、可能な限り国民に知らせないまま、制度改悪を進めようという政府の狙いがあります。

「現金給付」という文言が並びます。現金給付とは、要介護状態にある家族を介護する家族への給付となります。介護職員が不足する中、皆が介護施設等にて介護を受けられる状況ではない一よって家族介護に対して現金給付をするというものです。介護保険設立時の理念「介護の社会化」及び「介護離職ゼロ」を目指す政府方針から見れば、およそ許されないことが検討されているということです。

私たち民医連は、あらゆる介護保険の改正の問題に対して、利用者・家族、職員、事業所と、介護保険に関わるあらゆる人々にとつて最善の制度を訴え、この間運動をしてきました。現在も介護ウェーブの取り組みで学習し署名を集める活動を進めています。昨年11月10日には福祉ウェーブの宣伝行動を行い、1000名以上の参加がありました。

なで考えよう介護保険としています。集会・署名・自治体への行動を成功させ、なんとしても介護保険制度改悪をストップし、改善に向けた新しい一歩を皆さんと作っていききたいと思っています。

県連職員紹介

県連に奈良陽子さんが、着任しましたので紹介します。次の質問に答えていただきました。①入職年②前職場③担当④出身地⑤居住地⑥趣味・特技⑦県連職員に一言



①1992年の長町病院総務課③看護学生室④茨城県水戸市⑤多賀城市⑥映画鑑賞・読書・美味しいものを食べて飲むこと⑦よろしくお願いします!

連載 104

私の好きな憲法は何条?

南光台地域包括支援センター 芳賀明子

昨年11月、この日本で、武器見本市が開催されたというニュースがテレビから流れてきたときはびっくりし、二度見をしました。気持ちが悪いというのが私の感想でした。2014年に安倍政権が、「武器輸出三原則」を撤廃し、原則解禁する「防衛装備移転三原則」を閣議決定してから、武器輸出の動きは加速しているのだそうです。

明治から昭和初期にかけて戦争に明け暮れたような状態だった日本が、昭和、平成、令和と、75年もの間、戦争をせず、人間としての生活を守ってこれたのは、やはり、憲法9条のおかげだと思います。これまでも、アメリカから、海外派兵を要求されても、応じなかったのは、政府が守ってくれたというより、何より国民が憲法9条を守ったからではないでしょうか。

湾岸戦争の時、日本も巻き込まれるのではないかと、テレビで流される戦闘シーンを見て恐怖を感じた私は、ノートの片隅に、明治生まれの祖父にこれ以上戦争体験をさせないでくださいなど

と、どこへというあてもない願いを書いたことを記憶しています。書くことで多少なりとも不安を解消させようとしたのだと思います。子どもも不安を感じるので、戦争で一番悲しいのは、日本に限らず、せっかく奇跡的に産まれてきたのに、命の危機を感じながら、恐怖に震え、涙を流しながら過ごす子どもの顔を見ることがです。日本国憲法は、社会権として、国民の生存権、教育を受ける権利、勤労の権利、労働三権を保障していますが、これらは、



【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります!どこでしょう? (作・野上和彦)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。応募資格：臨時・パート含む県連職員。締切3月16日(日)消印有効。発表4月1日号。

